

第3回東金市外三市町清掃組合新ごみ処理施設事業者選定検討委員会 議事要旨

1 開催日時

令和5年3月22日（水） 13:30～16:30

2 開催日時

東金市外三市町環境クリーンセンター4階大会議室

3 出席委員氏名

荒井 喜久雄（委員長）、出口 浩（副委員長）、藤原 周史、
井上 一雄、堀江 和彦、鈴木 浩光
※欠席なし

4 議題

（1）報告・相談事項

- ① 実施方針について
- ② 事業者選定スケジュールについて
- ③ 概算事業費について

（2）審議事項

- ① 落札者決定基準（案）について
- ② 要求水準書（案）について

（3）その他

5 公開・非公開の別

非公開

非公開の理由：入札参加資格に関係する可能性がある内容を含むことから。

（情報公開条例第5条第4号に該当する内容）

6 議事概要

（1）報告相談事項① 実施方針について

事務局から、実施方針について説明した。既に公表済みであるため、第2回事業者選定検討委員会時に提示した実施方針（案）からの修正事項を説明した。委員会における意見はなかった。

（2）報告相談事項② 事業者選定スケジュールについて

事務局から、事業者選定スケジュールについて説明し、第2回事業者選定検討委員会時の意見を踏まえた修正箇所を提示した。委員会における意見はなかった。

（3）報告相談事項③ 概算事業費について

事務局から、概算事業費について説明し、委員会における意見を聴取した（以下、意見の概要）。

- ・民間事業者より得られた見積の妥当性調査の際、他類似事例との比較を行っているが、参考とする事例数が少ないため、比較する事例数を増やすこと。
- ・一部資料に誤記が見受けられるため修正すること。

（４）審議事項① 落札者決定基準（案）について

事務局から、落札者決定基準のうち、落札者選定における検討事項リストについて説明した（以下、各項目の審議内容）。

1) 総合評価値の算定方法について：加算方式（事務局案）

各委員からの意見：異論無し。

2) 技術評価点と価格点の割合：技術評価点：価格点＝60：40（事務局案）

各委員からの意見：異論無し。

3) 技術評価点の算定方法（各審査項目の評価方法）について：数値方式（定量評価）と判定方式（定性評価）の併用（事務局案）

各委員からの意見：異論無し。

4) 技術評価点の算定方法（判定方式の評価の階層数）について：5段階評価（事務局案）

各委員からの意見：異論無し。

5) 技術評価点の算定方法（合計得点）：素点計上方式（事務局案）

各委員からの意見：異論無し。

6) 価格点の算定方法：配点×（最低入札価格/入札価格）（事務局案）

各委員からの意見：異論無し。

7) 事業者選定検討委員会の審査方法：個別採点方式（事務局案）

各委員からの意見：異論無し。

8) 審査項目及び配点の設定：技術評価項目の構成と配点（案）を用いて第2回事業者選定検討委員会時からの変更点を事務局より説明した。

各委員からの意見：（以下に記す）

- ・環境保全に配慮した設計と施設運営において、排ガス基準値を満足させるための施策について要求水準書への記載を含め、再検討すること。
- ・定量評価である売電量の評価については、実行の可能性についても評価できるように工夫すること。

- ・脱炭素社会の推進に係る項目について、要求水準書への記載方法を含めて再検討すること。

何れも事務局として検討し、次回事業者選定検討委員会にて報告することとした。

(5) 審議事項② 要求水準書（案）について

事務局から、事業者選定検討委員会委員（学識委員）による要求水準書策定に係る検討会議における意見への対応案について説明し、各委員からの意見を踏まえ、要求水準書について事務局で検討することとした（以下、意見の概要）。

- ・排ガス基準値を満足させるための方法について要求水準書への記載方法を再検討すること。
- ・脱炭素社会の推進に係る項目について、要求水準書への記載方法を再検討すること。

(6) その他

- ・令和5年3月10日に公表した実施方針から、入札参加要件の緩和を事務局として検討しており、当該要件の緩和について本委員会において意見を聴取した。
→入札参加要件の緩和については、委員会から意見はなかった。
- ・鈴木委員が令和5年3月末をもって、副町長の職を退任することとなった。これに伴い、本委員会も合わせて退任することとなった。後任については後日検討することとした。

最後に、第4回東金市外三市町清掃組合新ごみ処理施設事業者選定検討委員会の開催予定日時等について確認した。

以上